

# 和紙糸を中心に自販4割超へ

## ユニフォームへも採用拡大

撚糸業の備後撚糸（広島県福山市）は、売上高に占める和紙糸「備和（ひんわ）」などの自販が4割以上になっている。ユニフォームへの採用が決ま

つたほか、サステイナビリティの観点から下げ札に和紙糸が採用されるなど販路を広げ、さらに自販の比率を高める。

今期（2021年3月期）に入つて

から、新型コロナウイルス感染拡大の影響で受託加工が伸び悩むものの、「その生産に注力できる」（光成明浩社長）として前向きに捉え、和紙糸の販路開拓を加

速する。中でも丸編みのニット製品への採用が増えた。ユニフォーム向けにも初めて和紙糸が採用された。オフィスウェア製造卸のヤギコー・ポーレーション（金沢市）が20秋冬に投入する「ユニレディ」

今後は用途を広げるため、「ホールガーメント」横編み機で使える和紙糸の開発も進める。「横編み用途で使いたいといふ問い合わせが多い」とことから、斜向などの問題解消

によるオリジナル糸の提案が可能な強みがある。加えて、サステイナビリティーの流れで「和紙糸に対する関心が高まっている」ことを生かし販路を広げる。

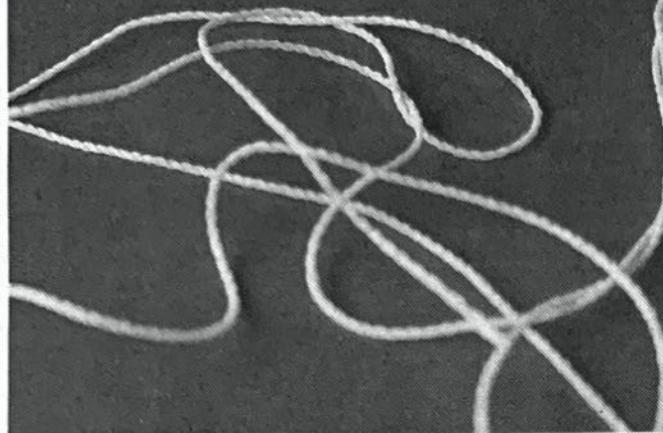
東レファイバー・産業資材事業部門

## 出口戦略の高度化推進

エアバッグでの刈り取り急ぐ

東レのファイバー・産業資材部門は2020年度、この間、自動車用工具、おもてなしの接客から事務服まで幅広く対応でき

る。サステイナビリティーの流れから和紙糸で新たな用途もある下札の糸などサステイナビリティーの流れから和紙糸で新たな用途もある



販路開拓を加

U2023シリーズで使われる。柔らかい印象のメランジとディープなミックス感の両面使いのニット製ウエアで、ソフトな風合いと軽量感、湿度調整や消臭機能も備え、おもてなしの接客から事務服まで幅広く対応でき

た設備投資の刈り取りを急ぐとともに、ファイバ

20%の事業拡大を計画す

一事業では出口戦略や新規販路の開拓に力を入れる。4月から中期経営計画を通じ各素材系列で

に関連した動きが広がるに取り組む。

今期は売上比率で自販

が受託加工を上回り「逆

撚糸を調整しながら要望に沿った糸面の風合いや强度を出した。

績段階でオリジナル糸を作るのは難しくなりつつある中、数々から撚糸に